

お年玉 中国文化



—中国の新年—

- ・お年玉とご祝儀
- ・元宵節について

中国の新年

1日からのお年玉

中国の新年は旧暦の1月1日から15日までです。この中でも1日と15日は一番大切です。今年の旧暦の1月1日は新暦の1月22日でした。除夜から新年まで子供たちはお年玉がもらえます。前回お年玉について少しご紹介しましたが、今回はお年玉とご祝儀についてもっと詳しくご紹介します。



お年玉

お年玉は中国語で「压岁钱 (yā suì qián)」と言います。「压岁钱」は、字面のままで、“压”が「押える」「岁」が「年」の意味を表します。また、中国語で「岁 (suì)」と「祟 (suì)」が同じ発音で、年始に大人が子供に金銭などを与えることで、子供を襲う祟りが抑えられ、その一年を平穏無事に過ごすことができるという民間信仰から来ています。つまり、お年玉は未成年の特権です。



子供向けのお年玉

ご祝儀

红包 (hóng bāo) とは、お金を入れる赤い紙袋のことです。子供にあげる红包はお年玉を意味しますが、それ以外の红包は祝儀を意味します。

広東省では、日本でいう「お年玉」を子供にだけでなく、大人にも配ります。つまり、新年の挨拶を交わす相手さえいれば、配ります。それゆえ、広東省の红包は量が大事です。

また、红包は広東語では「利是 (LaiSee)」といい、万事順調を意味します。



広東省の红包

デジタル社会になった現代の中国では、红包の贈り方も変わりました。中国には、微信 (wēi xìn) (日本語: ウェイチャット) という子供からお年寄りに至るまで幅広く使われているSNSアプリがあります。お正月の時期は、その微信上の家族や親戚のグループチャットを通して红包を贈り合います。



ウェイチャットのデジタル红包

元宵節

旧暦の1月15日は元宵节 (yuán xiāo jié) と呼ばれており、今年是新暦の2月5日に当たります。1月は別名「正月」・「元月」とも称され、元月の最初の宵(夜)であることから元宵節と命名されました。新年を締めくくる重要な一日です。

元宵節の由来

元宵節の由来は、前漢にまでさかのぼることができます。漢代の実権を掌握した呂后が崩御すると、国内では呂氏の乱が発生し、これを平定した陳平等により、劉恒が皇帝に推戴されました。反乱平定を達成したのが1月15日であったことから、以降皇帝が、毎年この日に宮殿を出て民衆と共に祝賀したことに由来します。この日を文帝により元宵節あるいは元夜、元夕と命名されました。

元宵節の食べ物

元宵節には元宵 (yuán xiāo) を食べる習慣があります。これは、唐の時代から伝わってきた伝統です。元宵はもち米を原料とした団子で、中の餡には甘いもの、塩辛いものなど様々な具が入られます。甘いものの例としては、砂糖、胡桃、ゴマ、小豆などが、塩辛いものの例としては、肉や野菜の具などがあります。

南の方では元宵に似ている湯圓 (湯円 tāng yuán) を食べます。湯圓は鍋で茹でる際、熱湯の中で団子が踊る姿を天に輝く満月に見立てました。そして家庭が団圓 (団樂円満の意味) と音が似ている「湯圓」という漢字が使用されています。



元宵・湯圓

道教と元宵節

道教も元宵節に大きな影響を与えています。道教における三元神、即ち上元天官、中元地官、下元水官をそれぞれ1月15日、7月15日、10月15日に割り当て、それぞれ上元節、中元節、下元節として祭祀が行われ、そのため元宵節は上元節とも称されます。元宵節に天官を祭祀するにあたり、人々は提灯・灯笼 (中国語では「灯笼 (dēng lóng) 」) を作り、華やかな雰囲気を出し、吉祥、邪気払いを行っていました。これらの宗教性は、次第に希薄になりましたが、現在でも元宵節には色とりどりの提灯が用いられ、そのため灯節とも称されます。『史記』樂書には漢の武帝の時代、元宵節には太一神の祭祀が行われていたと記載され、夜通し提灯が灯されていたと記載されています。



昔の灯節↑

現代の灯節→



中国のバレンタインデー

2月14日は西洋のバレンタインデーです。実は、中国には昔から独自のバレンタインデーが存在しています。それは元宵節です。

古代の中国では、町の治安を維持する目的で、周の時代から夜間の外出が禁じられていたため、ほとんどの一般の男女は、夜間に自由に外出することができませんでした。しかし1年のうち、元宵節だけは、その慣例を破り、庶民も夜通し外出して遊ぶことができました。特に、古代において身分ある女性は、普段は家の中から出ることはなく、儀礼や道徳による制約を受けていましたが、唯一この日だけは夜に連れ立って出かけ、灯節を楽しむことが許されました。そのため元宵節の夜は、年頃の男女にとって絶好の出会いのチャンスで、「最高にロマンチックな夜」だったのです。

宋・辛棄疾「青玉案・元夕」



众里寻他千百度，蓦然回首，那人却在灯火阑珊处

訳文：衆人の中を幾度となく探し、ふと振り返ると、何と彼女は、ともしびの消えかかろうとしている場所にいた。